

指揮者柳澤寿男 チャリティー講演会のご案内

☆講演料の一部は、バルカン室内管弦楽団の活動に寄付されます。旧ユーゴスラヴィア民族紛争の戦後復興のなかで活動を続けるひとりの日本人指揮者がいる。民族対立を音楽の力で乗り越える指揮者柳澤寿男とバルカン室内管弦楽団のストーリーは国内外のメディアからも注目を受け、各地で大反響を呼んでいる。インターネット社会となった現代だが、人々が集い、目をみて話し合うことの大切さを改めて実感、また会話以上の力を持った音楽の奇跡的な力と日本人だからできることをユーモアと情熱で語る！

◆指揮者柳澤寿男略歴

1971年長野県生まれ。旧ユーゴスラヴィアを中心に活躍する日本人指揮者として知られている。特に旧ユーゴ崩壊に伴う民族紛争による各民族間の交流の断絶を音楽の力によって取り戻そうとする、バルカン室内管弦楽団の試みは国連や国際機関からも高い評価を受け、今後の活動にも大きな注目が集まっている。NHK 総合テレビ「おはよう日本」、TBS テレビ「NEWS23」など数々の番組に出演するほか、2009年に放送されたBS ジャパン(テレビ東京系)「戦場に音楽の架け橋を～指揮者柳澤寿男 コソボの挑戦」は第6回日本放送文化大賞グランプリを受賞。さらに2013年にはモントリオールの映画監督マルコム・クラーク氏のドキュメンタリー映画「戦争なき世界」の一部に出演予定。2014年にはサラエボにてサラエボ事件から100年の節目に旧ユーゴスラヴィアの民族共栄のオーケストラ・バルカン室内管弦楽団による第九公演を予定し注目を集めている。2011年に長野県松本市で行われた、国連軍縮会議で講演会を行うほか、各地中学校、高等学校、大学、学校保護者会、同窓会、ロータリークラブ、音楽祭などで講演活動を行い大好評を得ている。現在は旧ユーゴスラヴィアの民族共栄オーケストラ・バルカン室内管弦楽団音楽監督、戦後復興のオーケストラ・コソボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者、ベオグラード・シンフォニエッタ名誉首席指揮者を務めるほか、国内外の数多くのオーケストラに客演している。2012年2月に、著書「戦場のタクト」が上梓された。(実業之日本社)。

